



ふるさとチョイス、日本最大級のふるさと納税大賞 「ふるさとチョイスアワード2018」に出場決定！

～ 自治体担当者が優良事例のプレゼンテーションを行い、審査員と来場者200名による投票で大賞を決定～

ふるさと納税総合サイト『ふるさとチョイス』(<http://www.furusato-tax.jp>)を企画・運営する、株式会社トラストバンク(本社:東京都目黒区、代表取締役:須永珠代、以下「トラストバンク」)が、11月21日(水)にスパイラルホール(東京・表参道)にて開催する「ふるさとチョイスアワード2018」に、高知県日高村と須崎市が出場します。



今年で5回目を迎える「ふるさとチョイスアワード」

今年のアワードは、「STORY」をテーマに、表になかなかでてこない、ふるさと納税によって地域が変わった様々な出来事を広く発信します。54の事例がエントリーされ、審査員が選んだ8つの優良事例が会場にて紹介されます。

日高村では、地域おこし協力隊が軸に組み上げたサービスとふるさと納税の関連を報告させていただきます。

□ ■ 「ふるさとチョイスアワード2018」概要 ■ □

- ◆開催日時：2018年11月21日(水)
- ◆開催時間：13:30～ (受付・開場：13:00)
- ◆開催場所：スパイラルホール
〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23 スパイラル3F
- ◆実施内容：各自治体ノミネート取り組みのプレゼンテーション / 審査・表彰
- ◆今年のテーマ：STORY
- ◆ノミネート自治体・エントリータイトル：
・高知県日高村：寄付実績0件！ふるさと納税は、内部コミュニケーションツール
(高知県須崎市：しんじょう君とふるさと納税でまちが変わる)
- ◆エントリー自治体数：54 ノミネート自治体数：8

ノミネート概要：

「村民に弟子入り体験しよう！」をコンセプトにして、村民の日常を体験できるサービスをふるさと納税で始めました。始めたきっかけは、村のおじいおばあの普段の生活が魅力的だから。ふるさと納税で提供できるようになるまで、地域事業者や東京メンバーの協力、村民との調整に文字通り協力隊が四苦八苦して作ったサービスだが、残念ながら申込実績はなかった。でも、取組んだことで地域の繋がりは強くなった。寄付額や件数じゃなくて、まずはやってみる。
ふるさと納税は、地域内でもコミュニケーションツール



※村民弟子入り体験提供事業：POP UP INN
公式WEBサイト <https://www.popupinn.net>

<プレスリリースに関するお問合せ>

(日高村)
日高村役場 企画課
[Tel:0889-24-5126](tel:0889-24-5126) mail:kikaku@vill.hidaka.kochi.jp
(須崎市)
須崎市役所 元気創造課
[Tel:0889-42-3951](tel:0889-42-3951) mail:genki@city.susaki.lg.jp